

技能評価システム移転促進(SESPP)事業

## 事業実施報告書【ミャンマー】

- ◆2017年12月5日(火)～7日(木)
- ◆ミャンマー・ヤンゴン市 Skills Training Center(STC)
- ◆電子機器組立て3級 技能評価技法研修

平成29年12月

## 1. 事業の全体概要

- (実施期間) 平成 29 年(2017 年)12 月 5 日(火)～7 日(木)
- (実施場所) ミャンマー連邦共和国 Skills Training Center(STC)
- (職 種) 電子機器組立て 3 級 技能評価技法研修
- (講 師) 安田 成彦氏
- (受講者数) 12 名(労働局技能開発局、産業省及び民間職業訓練団体の指導員等)
- (実施日程)

※今回の講習は前年度の官民合同委員会で出た要望をもとに、電子機器組立て職種に限定せず、他の職種についても検定課題の作成方法を指導した。

日時	活動名(指導内容)	
12月5日(火) 9:00～16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開講式</li> <li>・事務局よりオリエンテーション</li> <li>・参加者を専門職種毎にグループ分け</li> <li>・真偽法による模擬試験・各自で採点</li> <li>・偏差値・標準偏差の概念説明、偏差値の計算作業</li> <li>・5S、3F について説明</li> </ul>	(開講式挨拶) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミャンマー政府関係者</li> <li>・受講生のレベル把握のため</li> </ul>
12月6日(水) 9:00～16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配線実技試験体験</li> <li>・同一職種ごとに学科試験課題の検討</li> <li>・上記学科試験問題案の発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2名一組で半田ごてを用いて実践</li> <li>グループは 4 つ</li> <li>1:電気配線グループ(6名)</li> <li>2:電気製図グループ(1名)</li> <li>3:空気圧装置グループ(1名)</li> <li>4:電気工事グループ(4名)</li> </ul>
12月7日(木) 9:00～16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前日に引き続きグループに分かれて問題作成討議</li> <li>・発表 グループごとの代表者がプレゼンテーション。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・討議の後模造紙へ検討した課題を記入。</li> <li>・適宜講師が助言</li> </ul>



開講式



講習風景(グループ発表)

## 2. 講師講評

### <5S3定について>

5Sと言う言葉が、世界中で有名であるが、3定という定義の知識が足りない。講義の中で3定の内容を理解してもらったと思うので、今後、ミャンマーの中で3定の意識を高める行動を起こしてほしい。

### <標準偏差・偏差値について>

講義の前に計算が出来る人がいなかった、試験問題を作成する以上、偏差値の意味合いが大切なので、今後の役に立ててほしい。

### <各職種の課題作成と発表について>

#### ①「電気・電子機器組立」

メンバーが6名ということもあり、多くのレポートを作成してもらえた。この資料を元に、早く1級の国家試験問題をミャンマーで作成してほしい。

#### ②「電気工事職種」

日本では、技能検定ではなく、別資格の位置づけになる電気工事だが、話を聞いていると、非常に現地に根付いた意味のある職種であることを感じた。電気工事と言う点で、安全を課題の中に取り入れたことも今回の講習での意図が伝わり非常に良かった。しかし、試験のレベル感については、再度検討するようにレベルアップを依頼した。

#### ③「電気製図」

レポート作成が1名での対応だったが、アウトラインもしっかり作れており、実際の回路を入れた、例題もある内容で、完成度はよかった。ミャンマーで、どのタイミングで可能かはわからないが早く試験問題を作成し国家検定を運営してほしい。

#### ④「空気圧装置」

参加者は作成した課題をレベル2で設定しているということだった。レベル感があっているのかが不明だったが装置のことを詳しく作成しているのでエアコン職種と同様、レベル1は、施工設置の基礎知識で、レベル2が、装置の知識であれば、内容が合うのだと感じた。

### <全体を通じて>

ミャンマーにおいて、電気・電子機器組立のレベル1を早く導入してほしいと願っている。